

嗜銀顆粒性認知症

高齢発症で、進行は緩徐ですが、頑固、暴力傾向があり、家庭生活、社会生活が困難になります。ピック病と間違われることがあります。CT では、側頭葉の左右差が特徴的です。根本治療はありませんが、気分安定剤、第 2 世代抗精神病薬で、症状が軽快することもあります。